

真実を隠せない！

予見・回避可能だった原発事故はなぜ起きたのか。
東電刑事裁判で明らかになった真実をお伝えします。

いわき市報告会

いわきゆったり館大研修室
いわき市常磐湯本町上浅貝22-1
連絡先：090-7520-4175(佐藤)

1/13日

14:00~16:00

会津地方報告会

日本キリスト教団若松栄町教会(駐車場：15台程度)
会津若松市西栄町8-36 県立葵高校正門前
連絡先：090-7567-6588(片岡)

1/19日

13:30~15:30

1/20日

10:00~12:00

郡山市報告会

労働福祉会館3階大ホール
郡山市虎丸町7-7
連絡先：080-5558-5335(蛇石)

1/20日

13:30~15:30

福島市報告会

福島市市民会館第2ホール
福島市霞町1番52号
連絡先：080-5563-4516(佐々木)

田村地区報告会

三春交流館まほら 小ホール
田村郡三春町字大町191番地
連絡先：070-6498-2117(庄司)

1/26日

14:00~16:00

白河市報告会

白河市中央公民館
白河市天神町2
主催：NPO福島原発災害情報センター
連絡先：0248-28-1111

同時開催シンポジウム(14:30~17:00)
「裁判から観る原発災害」
NPO福島原発災害情報センター

2/3日

13:00~14:15

記憶
ない

権限
ない

責任
ない



武黒一郎 元副社長



勝俣恒久 元会長



武藤栄 元副社長



東電刑事裁判のブックレット好評発売中！

『東電刑事裁判で明らかになったこと』 予見・回避可能だった原発事故はなぜ起きたか

海渡 雄一 編著

福島原発刑事訴訟支援団, 福島原発告訴団 監修

価格 1,000 円 + 税

東電は、2008年の時点で、最大15.7mの巨大津波が福島第一原発に押し寄せるといふ解析結果を得ていた。いったんは会社として津波対策を取る方針になり、担当社員たちは奔走したが、対策費用が莫大になると分かると、元幹部らによって握りつぶされてしまう。3.11直後から「想定外の事故」と喧伝されたが、事実は正反対であり、大ウソだった。

津波計算から事故当時まで、会社の経営の最高責任者であったり、原発の安全対策を担当していた元役員3名（勝俣恒久、武黒一郎、武藤栄）が被告人となっている刑事裁判が現在おこなわれている。

この状況を、市民にむけ、争点のポイントや現時点までに明らかになっていることをわかりやすくまとめた本書を読み、経緯をウォッチしていこう！

◆福島原発刑事訴訟支援団

<https://shien-dan.org/>

◆福島原発告訴団

<http://kokuso-fukusimagenpatu.blogspot.com/>

◆佐藤和良のブログ「風のたより」

<https://skazuyoshi.exblog.jp/>

福島原発刑事訴訟支援団オリジナルソング♪

『真実は隠せない』

作詞：福島原発刑事訴訟支援団

作曲：長谷川光志



1. 大津波は予見できたはず
大津波は予見されていた
私たちは諦めはしない
真実隠すことはできない

2. 原発事故は回避できたはず
対策は用意されていた
私たちは諦めはしない
真実は明らかにされた

みなさん、覚えて歌ってね

私たちは諦めはしない
正義を今 求めるこの手に



東電刑事裁判
丸わかり！

ついに
佳境！

東電刑事裁判 (東京地裁)

第35回公判 12月26日(水)10:00～

第36回公判 12月27日(木)13:30～

原子力発電は、こんな人たちによって成り立っているのです



▲「まんがイラストぼうごなつこのページ」 2018.11.6 ぼうごなつこ

11月6日掲載のまんがを作者の許可をいただき転載しました。

<http://bogonatsuko.blog45.fc2.com/>



福島原発刑事訴訟支援団

〒963-4316 福島県田村市船引町芦沢字小倉140-1

でんわ:080-5739-7279 メール:info@shien-dan.org